

令和6年度職員自己評価結果

令和7年2月

学校法人帝京蒼柴学園

※評価段階 アできている イまあまあできている ウあまりできていない エできていない

評価項目	内容	評価	具体的に取り組んだこと・今後の課題	
①保育の計画性	1	園の教育理念や教育目標を理解している	イ	<p>・「10の姿」を意識しつつ、子どもの興味がある事も常に意識しながら環境構成ができるようにしていきたい。</p> <p>・指導計画に基き、ねらいを意識し活動の準備をしたりすることができた。</p> <p>・1年を通してテーマを意識しながら保育に向かえた。遊びの中から言葉を引き出せるように環境を整えた。</p> <p>・食育指導では興味を持ってもらえるように話す内容を工夫し献立には行事食や旬の食材を取り入れている。</p> <p>・季節をもっともっと楽しめる工夫をこれからもしていきたい。</p> <p>・学年の担任で話し合い、朝の時間異年齢クラスの行き来を自由にできるようにしたり一緒に遊ぶ活動を設けたりし、思いやりの気持ちが持てるよう言葉がけを工夫した。</p>
	2	こども園教育要領を読み、子どもの育ちを捉える中で「幼児期に育てたい10の姿」を意識している	イ	
	3	指導計画に基き、子どもが主体的に関わりたくなるような環境構成をしている	イ	
	4	各年齢設定した「言葉」のテーマを意識して保育をしている	ア	
	5	身近な自然や食育に興味関心が持てるよう、四季の変化に応じた環境構成をしたり、体験活動を取り入れたりしている	イ	
	6	異年齢児と関わり、思いやりの気持ちや憧れの気持ちを育てられるよう様々な工夫をしている	イ	
	7	自分の保育を評価・反省し、次の保育に活かしている	イ	
②保育の在り方・幼児への対応	8	危険な箇所はないか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかななどを常に観察し、対処している	ア	<p>・年齢に応じて怪我を未然に防げるよう配慮し、危険箇所等保育者間で情報共有している。また夕方は職員体制も変わり一日の疲れも出る時間でもあるので安全に過ごせるよう配慮している。</p> <p>・保育者間で嘔吐処理の手順や動きを再度確認しスムーズに対応できるようにした。感染症については保護者にも意識してもらえよう発信を考えていく。</p> <p>・子どもに応じた援助を行い一人でできることを増やしていく事ができた。遊びを通して良いところを伸ばしていきたい。子どもによってこちらが思いつかない遊びに発展させることがあるので柔軟に対応していきたい。</p> <p>・クラスの約束など、子ども達に問いかけ、出てきた意見を基に皆で決める機会を設けるようにした。</p> <p>・毎週クラス間でミーティングを行い記録し、子どもの姿や今後の進め方等共通理解できるようにした。</p>
	9	感染症への対応はマニュアルに基づき適切に対応・処理をし、清掃、換気、室温など常に気を付けている	ア	
	10	子どもの話に耳を傾け、子どもの個性を大切にしながら発達段階や一人ひとりに合わせた援助をしている	イ	
	11	子どもが判断したり考えたりする機会を大切にしている。また乳児には、その姿から気持ちや思いを汲み取るようにしている	イ	
	12	子どもの興味関心に沿って遊びを変化させたり発展できたりするよう援助している	イ	
	13	あいさつ・規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がけている	イ	
	14	子どもやクラスのことについて保育者同士で話し合い、職員全体で情報共有するよう心がけている	ア	

③保育者の資質揚力	15	職務上知り得た情報等の秘密を守っている	ア	<ul style="list-style-type: none"> ・復唱確認をしたり、メモを取ったり、伝達ミスがないよう努力しているが、報連相がうまく行えていないことがあり、何がいけなかったのか職員間で改善に向けて話し合いミスが減った。 ・伝達ミスがないよう気をつけているが、伝え方、受け取り方の解釈の違いがある時があったので、分かりやすく伝え、きちんと伝わっているか確認を必ず行うようにしたい。 ・誤食のないよう、随時確認し提供まで細心の注意を払っている。
	16	心ざわしい清潔感ある服装、髪型、身だしなみを心がけ、社会人としての常識をわきまえ行動している	ア	
	17	協調性を大切にし、教職員全員でひとつのチームであることを意識している	ア	
	18	復唱確認をし、伝達ミスがないよう努力するとともに報告・連絡・相談を徹底し、課せられた仕事は確実に、事後報告を必ずしている	イ	
④保護者への対応	19	園での遊びの様子や子どもの育ちをわかりやすく適切に保護者に伝えている	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションは子どもの声を拾い写真を多めに様子が伝わるように意識して作成し、写っている子もなるべく平等になるようにチェックしているが、カメラを避ける子もいるので難しい。 ・保護者の毎月の負担を減らす為、アレルギー児の提出書類を簡素化させた。
	20	保護者に寄り添い、相談や要望をよく聞き、信頼関係を築くように心掛けている	ア	
	21	話の内容によっては教職員全体で共有し、共通理解のうえで対処するようにしている	ア	
⑤地域・自然・社会との関わり	22	地域の方と挨拶を交わしたり、地域の自然や施設、行事等について理解し、関わりを持つよう努めている	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外に出た際は、大きな声で挨拶することを意識した。子ども達も真似をしていたので今後も意識していきたい。 ・年長は他園と交流したり、小学校の運動会練習等を見学したり校内探検や給食参観をさせてもらったりと就学への期待に繋がられている。 ・担当でない内容をしっかり把握できていないことがあるので理解するように努めたい。
	23	小学校の行事や公開授業等に関心を持ち、小学校の教育内容について理解するように努めている	ウ	
	24	子育て支援や園内開放について内容を理解するように努めている	イ	
⑥研修と研究	25	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、保育に反映するよう努めている	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で学んだり反省したり実践できるところを試してみるなど日々試行錯誤している。 ・研修の中で自分の保育と照らし合わせて何が足りていないのかを考えるようにしている。
	26	自分の保育について自己課題をもって評価・反省をしている	イ	

・乳児は不安になり泣くことで自分の気持ちを伝えようとしているので、言葉に置き換えていくことの繰り返しだが、伝えたい事を言葉として表現できないことがあるので、大人も言葉をもっと勉強する必要があると感じた。

・子どもが発する言葉をしっかりと受け止め、更なる言葉が引き出せるように問いかけ、遊びを通しながらやり取りを楽しんだ。またスケッチブックシアターや手袋シアター等を使い応答的なやり取りをすることができた。

・言葉でのコミュニケーションが楽しめるよう、ごっこ遊びに重きを置き、ままごとコーナーを設置したり、子どもの遊びを見ながら玩具や廃材を用意環境を整えた。

・言葉のやり取りをしながらうまく伝えられない気持ちや思いを保育者がその場に合った言葉や温かい伝え方に代えて知らせていく事で子ども自身も相手の気持ちに気付いたり考えたりできる大事な時間となった。

・サークルタイムを通し、普段自分の思いを言葉で表現することが少し難しい子ども意見が言えるように援助し、反対に自分の思いを主張しすぎる子、相手の思いを受け止めることが少し難しい子ども、互いに様々な思いがあるという事が少しずつ理解できてきているように感じた。今後も援助の仕方や一人一人に合わせた適切な配慮を考えていきたい。

・クラステーマを担任間でも意識して保育できた。4月は自ら困った事や気持ちを発信できずに助けてもらう事を待っている子が多かったが、サークルタイムで人前で話す経験を重ねていったこともあり、話し方・説明まで上手にできるようになった子どももいた。

令和6年度外部評価

評価者	・長岡市立小学校校長 ・帝京蒼柴学園法人代表	・長岡市内私立幼稚園園長 ・認定こども園帝京長岡幼稚園前々園長 ・当園役員
評価日時	令和7年2月17日(月)	
活動 と ねらい	<u>5歳児</u> めろん組の思い出紙芝居作りについて意見を出しながら話し合いを進めよう ・めろん組の思い出を友達や保育者と振り返り話し合いを意欲的に進める ・思い出を振り返りながら友達とひとつの目標に向かって取り組む楽しさを味わう	
	<u>4歳児</u> グループの友達と思いを伝え合いながら自分の作る物を決め、お店屋さんごっこのアイテム作りをしよう ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の意見を受け入れ相手の気持ちに気付いたりしながら話し合いをする ・経験したことを生かしながらイメージを膨らませ、お店屋さん作りを楽しむ	
	<u>3歳児</u> 友達と一緒にごっこ遊びを楽しもう ・友達や保育者と言葉のやり取りを楽しむ ・自分の気持ちを相手に伝える ・友達と一緒に遊びを楽しみ、言葉や心が通う喜びを味わう	
	<u>2歳児</u> 絵本の世界を楽しみながらなりきり遊びや政策を楽しむ ・絵本の世界を楽しみながら、友達と一緒になりきりごっこをする ・友達や保育者とやりとりを行いながらペープサート制作を楽しむ	
評価方法	各年齢当日の指導案にそって公開保育を行い「教育の捉え方」「園児の様子から」「保育者として」19項目5段階評価をしていただく	

=評価・内容=

評価項目	A年齢	B年齢	C年齢	D年齢
○教育の捉え方(4項目)	5	4.2	5	4.5
○園児の様子から(5項目)	4.4	4.4	5	4.6
○保育者として(10項目)	4.9	4.3	4.9	4.2

○教育の捉え方

- ・年齢ならではの設定がされていてこの時期に適したねらい、内容であると思った。
- ・予想される姿をあらかじめ捉え、指導のポイントを把握していた。
- ・子どもの興味関心、状況にマッチした活動だった。
- ・指示の出し方、活動の内容など指導のポイントもよくおさえられていた。

○園児の様子から

- ・子どもの持っている興味関心を引き出し、子ども達一人一人が主体的に活動していた。
- ・保育者の助言によって楽しそうになりきり遊びや制作を楽しんでおり、保育者との関わりでも幼児自ら声を掛けたりタッチしたりして保育者との信頼関係が育まれていると思う。
- ・自己選択ができる環境が多くあり全員が楽しそうに取り組んでいた。
- ・3チームに分かれて作業をしていたが、園児は友達と話し合ったりして活発に活動していた。
- ・どの子ども作品作りに集中していた。途中で掲示してある写真で活動の様子を確認したり、友達と相談したりしながら作業を進めるなど、意欲的に活動を進めていた。

○保育者として（人的、物的環境も含む）

- ・はらぺこあおむしの絵本は保育者の声で語りかけるように読み聞かせた方が子どもの心に残ると思うし、CDの音が絵本と反対の後ろの方から聞こえてきたのは絵と内容が分離していた。
- ・ペープサートをすべてちょうちょにするのではなく、子どもの選択肢を広くして、あおむし、サナギ、ちょうちょとすれば子の繋がりもできたりして友達関係が深まるのではないか。
- ・制作の前にマーカーの使い方など道具の指導がきちんとしていて感心した。
- ・朝の歌の時、みんなと一緒に行動ができない子がいたが、声かけはしたが無理に連れてこなくて良かった。
- ・保育者同士の連携はとてもよく、次の活動になる前に速やかに準備が整っていてスムーズで事前の話し合いがしっかりされていると感心した。
- ・園児の上履きの裏がとてもきれいで園内の清掃や清潔さが配慮されていた。
- ・コーナーの設定をもう少し具体的に分けて、集中できるように目線までの区切りになると良いと思った。
- ・ハサミを器用に使い、保育者の指導の下、園児は楽しそうに話し合いながら共同作業をしていた。
- ・元気な返事、大きな声、楽しさが伝わってきた。
- ・色紙を切るのに少し苦労していた（折りたたむことができず困っていた）園児に対して早めに手を添えてほしかった。
- ・先生が分担してチームにつきアドバイスをしていた。
- ・自分たちの活動の中で自分のとっておきの活動をまとめる活動が、子供達にとってとても魅力的な活動であったと思う。
- ・保育者からの指示の聞き方や後片付けなど日頃から丁寧な指導がなされていたことが感じ取れた。

○役員さんのご感想から

- ・短い時間の中に沢山の工夫と配慮がされているなあと気づかされた。歌では子供達が興味を持つように自作の絵を用意し動物の特徴を見てわかる工夫。点呼の際、様子の変化や顔色（体調等）に気を配る。絵本ではどの部分かわかるように指差しをしたり、数字を指で表現する。なりきりごっこでは「何がいいかな？」と優しく声掛けをし、子供達が活発な発言ができる雰囲気作り。ペープサート作りでは注意点を毎回指導していることが子供達に浸透し、身につけている様子が伺えた。子供達が飽きたり悲しがるような声掛けではなく自信につながる会話をしている素敵だと思った。
- ・子供達全員がとても安心して過ごしているのが伝わってきた。終始笑顔で元気に接している先生への安心感と信頼感があるからこそその子供達の自然体の姿を見れて良かった。テーマである自分の気持ちを安心して表せるという事がとてもよくできていると思った（子供達に問いかけて聞き出す、自然と意見を出せる環境作り）。次の行動への指示理解がきちんとできていて、ペンの使い方をしっかり覚えていたり友達へのやり取りや声かけもしっかりしていて次の学年へのステップアップもできていると感じた。
- ・あいさつが元気いっぱい。朝の会も先生から一方的な話ではなく、子供達の声聞きながら進めており、子供達も落ち着いて話を聞いていた。遊びの内容も皆で相談しながら決めていて意見が自然に言える空気作りがすごいと思った。それぞれの遊びの中で仲良しグループもあるだろうけど色々な友達と色々な遊びをしていて仲が良いなと感じた。遊びに入る際「入れて」と一声かけその返事も出来ていて言葉のやり取りができていた。大人にも遊ぼうと声をかけてくれる子供達が可愛く、それは日頃先生方が子供達に向き合ってくれているからの行動なのだなと思った。遊びのグッズも皆の手作りですごくかわいかった。トラブルはあるものだが、想像以上に少なかったこととすぐに先生が間に入っている所がすごいと思った。気になる所がないくらい皆のびのび遊んでいたのもとても楽しい時間になった。
- ・先生の方から日付や曜日、天気などさりげなく話題を誘導しながら声を出しやすいように配慮していた。先生が一方的に「今日はこれをする、あれをする」と言うのではなく、子供達の顔を一人一人見、声に耳を傾け、

子供達の意見を尊重しながら自主性を育てていた。途中で作業に飽きたり別の事に脱線しかけている子にも「ダメだよ」と頭ごなしに叱るのではなく、その子に寄り添って興味を促してあげたり、その子に「役」を与えて居場所を作ってあげるなど、とても優しくて柔らかな気遣いが随所に見受けられ「子どもを信じているのだな」と強く感じた。

- ・先生の指示に皆すぐ反応して次の活動に移っていて日々様子が垣間見えた。「設計図」という言葉をサラッと使っていてびっくりした。子供達はどこまで理解しているのかなと思う反面、自然とそういう難しい言葉を活動の中に取り入れることで何となくでも言葉を知っていくのかなと思った。子供達は終始のびのびと活動していて自由な発想を膨らませていたように見えた。子供の目線で向き合ってくれているのがよくわかった。グループごとの発表は、前に出ず発表者に体を向けるトレーニングにもなるのでその場でも良いのでは。約40分の中でこのような構成がされていることにびっくりした。先生の言葉や友達との関わりの中で家には決して身に付かない成長の種があるのだなと改めて感激した。
- ・先生が話し始めるとすぐ全員が静かになることに驚いた。友達の発表の時も皆静かに聞いていてさすがめろんさんだなと感心した。グループごとに分かれての話し合いでは誰一人として“独りぼっち”になっている子がおらず、友達と話し合ったり先生と話しあったり全員が参加して楽しそうに紙芝居作りをしていたことがとても印象的だった。発表の場では気持ちの準備がまだのグループを次回しにしている所が良いと思った。また発表に対しての先生のコメントがぼかぼか言葉いっぱいですばらしいと思った。

.....

以上のような評価をいただきました。

令和7年度もさらに質の高い保育を目指し、職員間で話し合いながら取り組んでいきたいと思ひます。

令和6年度 学校評価(保護者アンケート)結果

認定こども園帝京長岡幼稚園

保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。87名の方にご回答いただきました評価結果をご報告させていただきます。

〈教育目標〉

- 自主 自分のことは自分でやり抜くがんばる子(幼児期の発達課題である自立心を育てる)
- 礼節 約束をまもるきまりのよい子(尊敬や感謝の心を育て、品位と節度のある態度を身につける)
- 友愛 友達を思いやる優しい子(人の痛さがわかって思いやる 人の喜ぶことをする)

〈重点目標〉

- 意欲的に生き生きと活動を楽しむ子どもの育成
- 0歳から就学までの連続性のあるトータルの教育を目指す

〈令和6年度目標〉

- ① 安定感を持って、主体的に行動する中で意欲的態度を身に付ける
- ② 様々な経験をしたり触れ合いの温かさを感じたりして、思いやりの心を育む
- ③ 体験を通した食育、安全教育を実施し、たくましい心と体を育成する

〈令和6年度テーマ〉 あたたかい言葉で伝え合おう！

5歳…ぼかぼか言葉で笑顔をたくさん咲かせよう！

2歳…ことばでのコミュニケーションを楽しもう

4歳…心の声を言葉にして伝えよう！

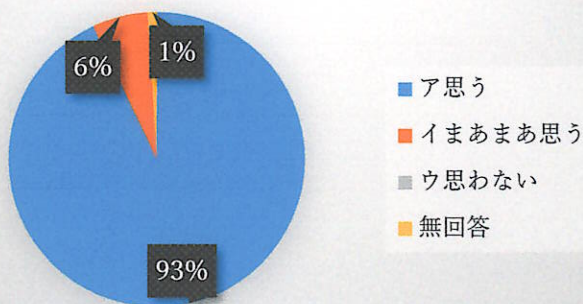
1歳…ことばのやり取りを楽しもう

3歳…ふわふわ言葉、気持ちいいね

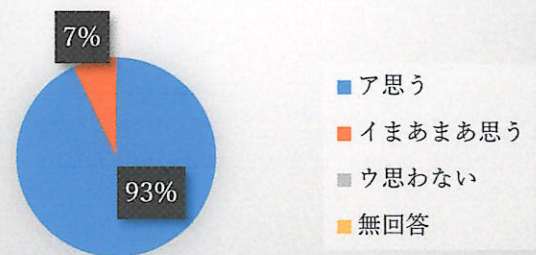
0歳…喃語でコミュニケーションを広げよう

目標①に関連する保護者評価・ご意見

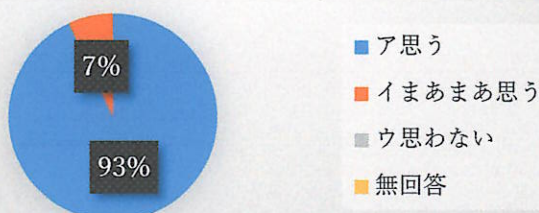
1. お子さんは安心して園生活を楽しんでおられますか



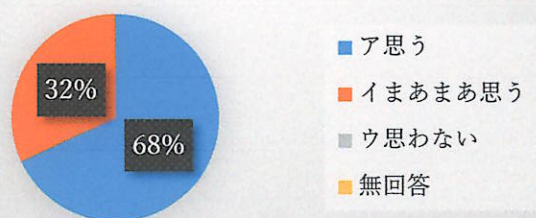
2. 園は子どもの個性を大切にしながら発達段階や興味関心に合わせた保育をしているとおられますか



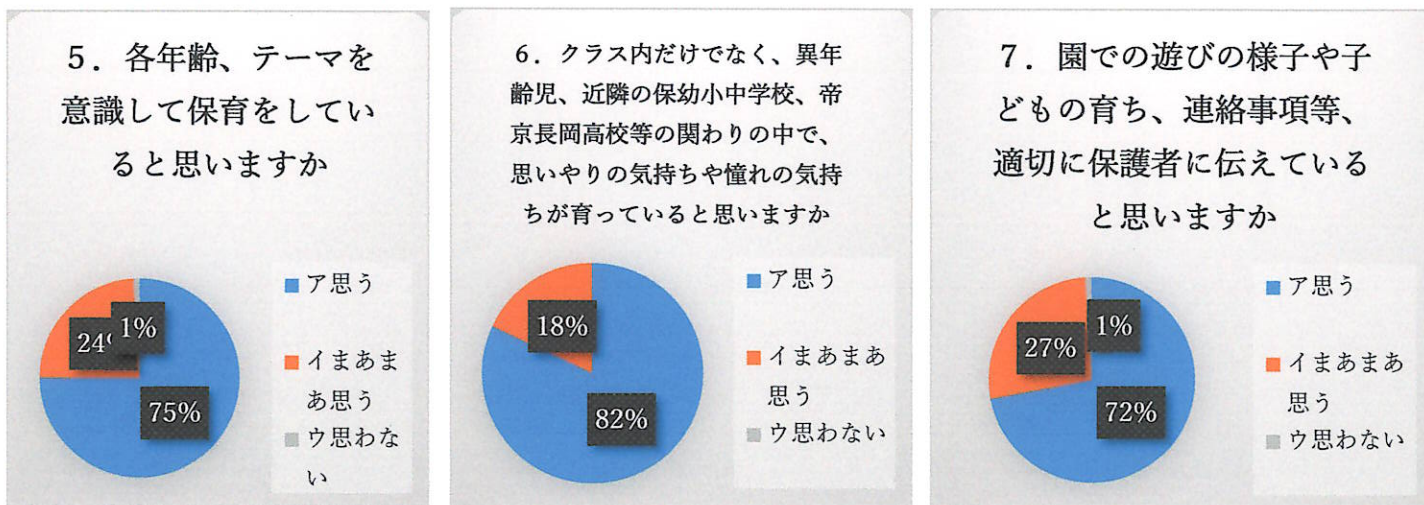
3. 園の行事は子どもにとって楽しいものであり、お子さんは伸び伸びと意欲的に活動に取り組んでいるとおられますか



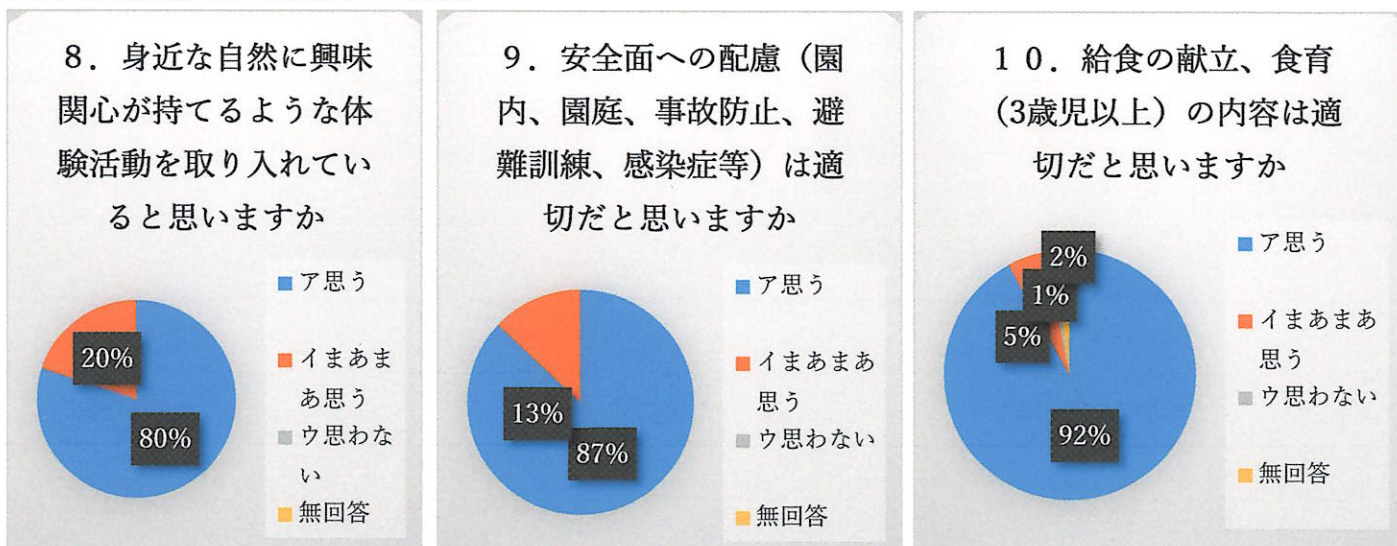
4. お子さんは園生活の中で挨拶(言葉だけでなく、おじぎタッチなど各年齢の発達を考慮して)が出来ているとおられますか



目標②に関連する保護者評価・ご意見



目標③に関連する保護者評価・ご意見



○「幼稚園が楽しい！」と話し、毎日前向きな気持ちで登園できています。朝早くから夕方までと園で過ごす時間が長いですが、安心して過ごすことができるのは先生方のおかげです。子どもからの話を聞くと、子どもの「やりたい」に寄り添って接して下さっていることが分かります。これからもよろしくお願いします。

○この1年であいさつがしっかりできるようになったと感じています。特に何か相手からしてもらった際に「ありがとう」という言葉が増えてきました。家でもあいさつを大切にしていますが、園の中でも自然な形でやり取りがされているのだと思います。日々丁寧な関わりをしていただき、本当にありがとうございます。

○4歳児(年中)の親です。「心の声を言葉にして伝えよう！」のテーマのおかげか、自分の気持ちを伝えようとしてくれることが増えたように思います。以前は気付いてほしくて、表情で訴えていることが多かったのですが、言葉で伝えてくれて嬉しく思っています。

○偏食がちで家でも自分の好きな物しか食べずに悩んでいますが、食育で食べ物のお話を聞いて興味をもって、給食も少しずつ食べられるものが増えて、家でも少しずつですが食べられるものも増えてきました。毎日おいしい給食をありがとうございます。

△ときおり乱暴な言葉づかいが目立ち、家ではだれも言わない言葉なので驚かされることがあります。ぜひふわふわ言葉を重視してほしい。

△今回のようなアンケートに QR コードを付けていただくことは可能でしょうか。導入段階ではご面倒かもしれませんが集計は楽になるかと…。(導入する方が大変であればよいです)

△アンケートの選択肢を4つにしてほしいです。(あまり思わないがあると良いのではないかと思います)